

3月定例会 一般質問(要旨)

市議会ホームページにて一般質問の録画配信と会議録を公開していますので、ご覧ください。

緑風会 平畑 武 議員

消防団について

(質問) 消防団は日頃から多種多様な活動をボランティアで行っている。今後、消防団を中核として地域防災力を高めることになると思いますが、団員への優遇制度の導入の考え方を問う。

(答弁) 消防団は、突然発生する火災や地震、風水害等の災害現場に昼夜を分かたず駆けつけ、危険を顧みず活動している。平時には自治会などの

訓練指導、火災予防啓発パトロール、自らの技術向上のための訓練、地域行事の安全確保の協力なども行っている。また、団員は日頃それぞれの本業を持つ地域住民によって構成され、「自分の地域は自分で守る」との奉仕の精神で活動している。本市では団員への優遇制度の導入について先進事例の調査・研究を行い、消防団員が活動しやすい環境を整えるため、前向きに取り組んでいく。

その他の質問 ○集中豪雨時の鈴鹿川氾濫に対する防災対応について

○地域の安全について

リベラル鈴鹿 水谷 進 議員

Wi-Fi導入の考え方について

(質問) Wi-Fiの行政施設への導入、観光での利用、防災での活用についての考え方。

(答弁) 無線通信に対するセキュリティー対策、運用面での工夫、運用コスト面での課題などを検討した上で、最大限に効果が得られる施設を選定し導入を行う必要があると考える。観光での利用では、国や三重県の事業を活用し、鈴鹿

商工会議所や鈴鹿市観光協会と連携しながら、市内の外国人観光客の受け入れ事業や観光施設でのWi-Fiなどの無料公衆無線LANの環境整備について促進をしていきたいと考える。防災での活用については、行政と市民の両方で有効なツールとなり得るが、災害時での活用のみ限定されるため、整備に当たっては日常的な市民サービスの一環としてWi-Fiの導入を検討する際に、防災としても活用できるよう検討したいと考える。

その他の質問 ○「もったいない」について

リベラル鈴鹿 森田 英治 議員

国民健康保険について

(質問) 国民健康保険税の値上げについて、平均17%の値上げはあまりにも大きく、値上げ後は県内で最高額となる。全国の多くの自治体は、国保予算の不足分を賄うために一般会計からの繰り入れを行っている。今回の改定の考え方について伺う。

(答弁) 加入者の減少により歳入は減っているが、医療の高度化などにより、歳出は増加して

いるため大幅な赤字が予想される。

本来は、一般会計からの繰り入れは行うべきではないが、急激な値上げにならないように、平成28年度は一般会計から3億円の繰り入れを行い、値上げ幅を引き下げた。

国民健康保険が、低所得世帯のセーフティネットとしての役割を果たしていると認識しているが、国民健康保険の安定的な運営のために、被保険者の方にも一部を負担いただく改正案である。

鈴鹿の風 中西 大輔 議員

地域公共交通の検討

(質問) タクシーを活用する考えで質問を構成。秦野市の事例を参考に、路線固定型乗合タクシーのような事業に投資すれば、地域的な公平性も図りながら、長太ノ浦から白子にかけた地域で実証運行ができるのではないかと。

(答弁) 本市の公共交通施策は、公共交通空白地域の移動制約者の方々の方々の日常の移動手段の確

保のため行っている。現在、新しい交通サービスのあり方について検証を行っており、タクシーの活用も含め検討していく。

今後、新しい公共交通システムについて、「道路運送法」に基づく、一般旅客自動車営業者との協働が必要である。国の補助要件にある「運行する区域の半径1km以内にバス停や鉄道駅等が存在しない、交通不便地域であること」に準じた本市の考え方は、社会状況の変化に応じ、変更も含め検討していく。

その他の質問 ○バイクを活かす地域活性化